

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	おみごと農業研修推進事業
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人おみごと (Tel 0263-50-6150)
事業区分	(6) 産業振興及び雇用拡大に関する事業 (8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	3,322,518 円 (うち支援金: 2,339,000 円)

事業内容

高齢化による担い手不足、農地の遊休荒廃化が進む麻績村において、都市部から村へ移住した農業を学ぶ志のある地域おこし協力隊を農業研修生として受け入れ、以下の事業を行うことで、麻績村における農業振興と次世代の担い手育成を推進する。

(1) 生産拡大事業

遊休荒廃農地を舞台に、農産物栽培を通じた農業研修を実施。

(2) 商品化事業

収穫した米のブランド化など、農産物の魅力を活かした商品展開や付加価値創出の方向性を模索。

(3) 販売研修事業

都市圏での物産展等イベントに農業研修生が参加し、農産物等を販売。

(4) 地域交流事業

村内のイベント等に積極参加し、地域交流を推進。



【農業研修の様子】



【都市部より移住した農業研修生たち】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①遊休荒廃農地の有効活用による農業振興

- ・りんごの新しい化栽培や稲作面積の拡大により、遊休荒廃農地の農地再生面積を1ha→2.6haまで拡大。当初目標(1.5ha)を大きく上回る数値を達成した。
- ・米袋開発やふるさと納税の返礼品としてのりんご提供などを通じて、農産物のブランド力を強化できた。
- ・「うちの農地を使ってくれないか」という村民からの相談の問い合わせが増加した。農地の荒廃化を待つのではなく、法人に任せてみようという機運が生まれつつある。

②農業研修を通じた次世代の担い手育成

- ・農業未経験の研修生5名が、育成・管理等の栽培技術から販売、農業経営の基礎まで、農業に関する様々な技能・知識を習得。
- ・任期を終えた地域おこし協力隊員が村内で就農・定住を始めるなど、当法人の農業研修が次世代の担い手の誕生に結び付いた。
- ・村内イベントでの交流、意見交換や、村主催の農業体験ツアーの企画・実施において村民との協力体制を築いた。

【目標・ねらい】

- ①遊休荒廃農地の有効活用による農業振興
- ②農業研修を通じた次世代の担い手育成

※自己評価【A】

【理由】

当初目標の1.5倍の農地再生、充実した農業研修の実施など、実施した4事業すべてにおいて予定を上回る効果を得られたため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

本事業の内容をさらに充実させつつ、さらなる農地の有効活用と生産拡大、農産物のブランド力強化及び都市交流による地域活性化を実現するため事業を拡大させていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある